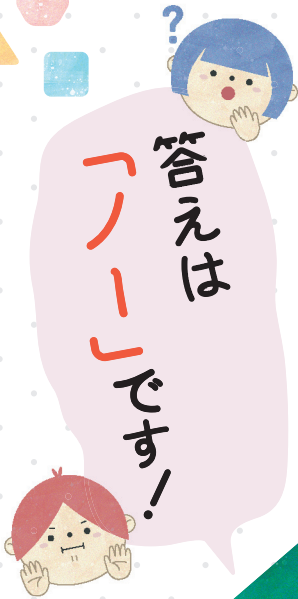


選択的夫婦別姓って ほんとうに 必要なの？



家族はいったいどうなるの!?

別姓制度の導入は、日本の家族制度を根本から変えてしまいかねない様々な問題をはらんでいて、「選択肢が増えることは良いこと」「求める人がいるならそうしてあげれば良い」とか、そんなふうに簡単に決めていい問題ではないんだ。

みんなにかかわる問題だからこそ
いま一度、慎重に考えてみるのが
大切じゃないかな。



おしえて！夫婦別姓のぎもんQ&A

別姓制度が導入されたら 家族の名字はどうなっちゃうの？



親子別姓はさけられず、きょうだいで
名字がバラバラになることもあります。

例えば一家族に
3つの名字が存在する事態に!



別姓を認めても
何も変わらないって聞いたけど…



名前の呼び方だけでなくご先祖さまや家族の将来にも大きくかかわって混乱してくるよ。



夫婦別姓について、
みんなはどう考えているんだろう？



実は、別姓になることを
本当に望んでいる人は多くないんだよ。

\\ 平成29年の世論調査の結果をみてみよう //

29.3% 夫婦は同姓であるべき



24.4% 夫婦は同姓であるべき
だけれど通称使用もあり



42.5% 希望する人は別姓でもいい



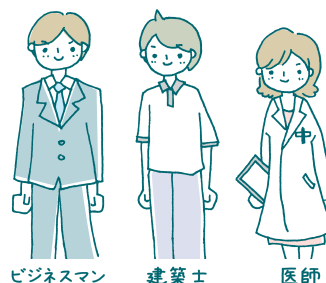
でも法律が改められたら
別姓を希望する人は
全体の約8%だけ!

同姓を不便に感じている人や、結婚後も旧姓を使用したい人はどうすればいいの？

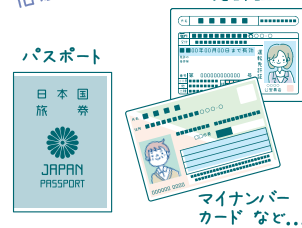


同姓のまま、旧姓を通称として使用することが社会的に広く認められています！

\\ 旧姓を通称使用しています //



社会生活に必要な
各種証明書についても8割以上で
旧姓併記・使用が可能です





夫婦別姓だけじゃない!? 私たちにかかわる大事な問題

夫婦別姓だけでなく、現在、国会では
性的少数者(LGBTなど)の理解増進についての
法律案が取り上げられているよね。

この法律案の注目すべき点は、単に「理解増進」ではなく、
「目的」と「基本理念」に「性的指向及び性自認を理由とする
差別は許されない」との文言が盛り込まれていること。
「差別は許されない」との文言を根拠に訴訟が海外のように
多発することや、公共のトイレや更衣室をめぐる
混乱が生じるなどの問題が指摘されているんだ。
こうしたトラブルはすでに起こりはじめているよ。

性をめぐる国内外の事例

●日本

- 1 平成27年、性同一性障害の経済産業省職員が、戸籍上男性であることを理由に、女性トイレの使用を制限されたのは差別として提訴。使用制限について地裁は違法、高裁は合法と判断。
- 2 令和3年、札幌市の書店の女性トイレに男が正当な理由なく侵入し現行犯逮捕。男は「戸籍上は男だが、気持ちが女性だから入った」と発言。

★米国

- 1 平成17年、マサチューセッツ州の小学校で、子供に同性愛や同性婚を擁護する教育を受けさせることを望まなかった親が学校に居残り。不法侵入で通報され連行された。
- 2 平成24年、コロラド州のケーキ屋の店主が、同性カップルの結婚披露宴で用いるケーキの作成を拒否。州行政裁判所は「差別」と判断し、控訴審判決もこれを支持した。その後、米連邦最高裁は店主側の信教の自由に基づいた主張が公正に扱われなかったとし、平成30年に原判決を破棄した。
- 3 令和3年、米最高裁はトランスジェンダーの学生に自身が認識する性別のトイレを使わせなかった教育委員会の行為は違法とする判決を下した。
- 4 令和3年、フロリダ州ではトランスジェンダーの選手が公立校の女子運動競技に参加することを禁止する法律が施行。女子競技への参加者に対し出生証明書で性別を明示するよう義務付けた。